

科目名	社会文化ゼミナール	科目コード	1151	単位数	2
担当者名	柳川 博	開講セメスター	第1セメスター	開講年次	1年次

● 授業のねらい

次の2点を授業のねらいとする。  
 豊かな人間形成における幅広い教養とコミュニケーション能力を身につける。  
 修得した知識および技能により、自ら課題を発見し解決する能力を身につける。

● 到達目標

次の3点を到達目標とする。  
 自主的に選択し、決定する。（例：図書の選択、課題の設定）  
 自主的に学習研究環境を整備する。（例：大学設備の有効な利用方法）  
 学習の成果を自身の言葉で表現する能力を身につける。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス（図書館の利用法・大学施設体験・「本の買い方選び方」）
- 2週目 教養への誘い（読書の意義）
- 3週目 教養への誘い（科学と宗教のはざま）
- 4週目 教養への誘い（知的複眼思考法）
- 5週目 人間の記録（「人生」とは何か）
- 6週目 人間の記録（伝記を読む）
- 7週目 人間の記録（生と死）
- 8週目 パラダイムを超えて（科学の誕生）
- 9週目 パラダイムを超えて（進化と人間）
- 10週目 戦争と平和への希望（敗北と向き合う）
- 11週目 戦争と平和への希望（ヒロシマ、ナガサキ、チェルノブイリ）
- 12週目 戦争と平和への希望（平和を作る手がかり）
- 13週目 現代の重要問題（危機に立つ地球）
- 14週目 現代の重要問題（グローバリズムとナショナリズム）
- 15週目 現代の重要問題（「日本」という課題）
- 16週目 総合討論

● 準備学習(予習・復習)等の内容

下記の『参考書』を手がかりとして、自身で選択した図書を完読することが最も大事な予習である。読了後の「書評」をゼミナールで報告し、グループディスカッションを通して課題を発見し、関連する図書や資料を探索し、さらに読書や研究の幅を広げていくことが復習である。関連情報はCoursePowerにもその都度掲載するので確認すること。上記の予習・復習には、それぞれ2時間以上必要である。

● 成績評価の方法・基準

報告する図書やテーマを選定するプロセスやプレゼンテーションの内容を60%、ディベートやグループディスカッションへのコミットメントを20%、報告と討論に対する「自己点検」を20%として評価する。なお、報告と討論の自己点検についてはCoursePower上の「自己点検シート」に研究成果、問題解決の経過、全体の反省点等を複数回記録すること。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

毎時間、必ず出席することはもとより、他の学生の報告を真剣に聞き、自身の意見を表明し、ディベートする場を数多く作ること。ゼミの時間以外にも関連する学習や議論の場を自主的に作ること。「オフィスアワー」を利用して考えをまとめてみよう。

● テキスト

特になし。下記の参考書や「推薦図書リスト」などを手掛かりとして報告する図書を自身で選択すること。

● 参考書

- 広島大学101冊の本委員会編『大学新生に薦める101冊の本』（岩波書店）
- 岩波文庫編集部『岩波文庫解説総目録』（岩波書店）
- 高橋源一郎編『読んじゃいなよ！ 明治学院大学国際学部高橋源一郎ゼミで岩波新書を読む』（岩波新書）
- 斉藤美奈子『文庫解説ワンダーランド』（岩波新書）

● 更新日付

2019/01/31 03:05